

ビジネス・ブレイクスルー大学 2023年第1回 第三者評価会議（企業）分科会

日時	2023年 9月29日（金）15:00～16:00
場所	オンライン
議題	1. 【報告】ファイナンスドリブンキャンプ（第1期）進捗のご報告 2. 【議論】委員の方から見えるファイナンスドリブンキャンプ講座の課題や、教育の質向上に向けた本学の取り組み・マーケティング活動について
出席	税理士法人ユリウス 植田秀史 委員 塚本公認会計士事務所 塚本秀和 委員 大原 達朗経営学部長（議長）、柴田巖事務総長、 【内部質保証室】大谷事務局長、小川教務部長

【議事骨子】

・議長からファイナンスドリブンキャンプの教育目的、カリキュラム概要、主要講座の概要について説明した

・委員から、次のような質問が出た

- ー 今後、本講座の受講生としてどんな方を想定しているのか。
- ー 数字（決算書）と実際のビジネスの紐づけが必要なのではないか。
- ー 最終課題（自身で事業計画を創る）のバリエーションがあると良いのではないかと。

・委員からの質問に対して、議長は次のような回答をした

現状では自社の別講座の修了生がメインだが、将来的には30代後半から40代の事業責任者の方に受講してもらえよう募集活動に注力をしていく。また、MBAを取得したがファイナンスに苦手意識を持つ方も対象になり得ると考えている。

既に講義映像で、数字とビジネスの紐づけは扱っているが、精度としては改善の余地があると認識している。

自身で創業計画を作成し、資金調達をすることを想定していたが、ビジネスアイデアが作りこめない方もいらっしゃる、最終課題として他の案を示す必要性はある。自社を題材にすることも可能だが、情報にアクセスできない方もいらっしゃるため、自身で身近な事業を選んでPLに落とし込み、それを事業計画化することも一案として示している。

・実社会におけるCFO人材ニーズの観点からは、本講座の良い点、改善すべき点は次のような発言がなされた

<良い点>

- ー 現場で働いてきた方にとって経営層とのコミュニケーションに必要なファクトと構想を持った議論ができるスキルを養えるプログラムだと感じる。

- － 決算書の読み込みにおいて数字だけで把握しようとはせず、事業と結び付けており、リアル感を持って決算書の活用ができるようになるのではないかと感じる。

<改善すべき点>

- － 最終課題において自身で事業計画が作れない可能性が他の選択肢を提示した方が良いのではないか。
 - － 受講生のレベルにばらつきがでる可能性があるのではないか。
- ・ 議長は次のステップ、および課題について以下を重点項目として申し合わせた
 - － 創業計画書の作成以外にも最終課題のバリエーションを提示
 - － 各学習者のレベル感や学習ニーズに応じた学習支援の提供
 - － 各学習者の学習進捗の可視化と改善課題の抽出
 - ・ 次回開催は、本講座が修了する来年24年2月～3月頃を目途とする事とした

以上